

1

主語・述語、言葉のかかり受け

()年 ()組 ()番 氏名 ()

1 次の1から3までの文は、左のわくのア、イ、ウのどの型に当たりますか。最もふさわしいものをそれぞれ一つえらんで、その記号を書きましよう。

1 ふくろうが 夜おそくまで 鳴いた。

2 春になって 風が あたたかい。

3 四国で 一番高い 山は 石鎚山だ。

ア 「何は(が)」「何だ」
イ 「何は(が)」「どうした」
ウ 「何は(が)」「どんなだ」

2 次の文についてあとのといにこたえましよう。

(1) はい色の 魚が 川を すいすい 泳ぐ。

「泳ぐ」をくわしくしている言葉ではないものはどれですか。

1 「はい色の」

2 「すいすい」

3 「川を」

(2) 大きな 船が 海を ゆっくりと 進む。

修飾語をすべて書きだましよう。

1

主語・述語、言葉のかかり受け

()年 ()組 ()番 氏名 ()

1 次の1から3までの文は、左のわくのア、イ、ウのどの型に当たりますか。最もふさわしいものをそれぞれ一つえらんで、その記号を書きましよう。

1 ふくろうが 夜おそくまで 鳴いた。

2 春になって 風が あたたかい。

3 四国で 一番高い 山は 石鎚山だ。
いしづみさん

ア ウ イ

ア 「何は(が)」「何だ」
イ 「何は(が)」「どうした」
ウ 「何は(が)」「どんなだ」

2 次の文についてあとのといにこたえましよう。

(1) はい色の 魚が 川を すいすい 泳ぐ。

「泳ぐ」をくわしくしている言葉ではないものはどれですか。

1 「はい色の」

2 「すいすい」

3 「川を」

1

(2) 大きな 船が 海を ゆっくりと 進む。

修飾語をすべて書きだましよう。

大きな

海を

ゆっくりと